

## 令和6年度第3回鳥取県環境審議会大気・水質部会

- 1 開催日時 令和6年11月19日（火）午後1時30分～2時30分  
 2 開催場所 鳥取県庁本庁舎地下 第6会議室（鳥取市東町一丁目220）※オンライン併用  
 3 出席者 委員：齋藤部会長、大橋委員、伊達委員、朴委員（欠席：岸本委員）※全員オンライン出席  
 事務局：清水課長、西山参事、門脇課長補佐、向井課長補佐、安田係長

発言者	内 容
向井補佐	ただ今から、令和6年度第3回鳥取県環境審議会大気・水質部会を開会させていただきます。開会に当たり、水環境保全課長の清水から、一言ご挨拶申し上げます。
清水課長	<p>水環境保全課長の清水と申します。本日はお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の大気・水質部会でございますが、9月に続きまして2回目の、中海に係る湖沼水質保全計画に対するご議論をいただくことにしております。</p> <p>前回、齋藤部会長様の方から、7期の計画の評価につきまして、事務局としてはネガティブな表現で記載しておりましたが、「しっかり取組を行っているのだから、ポジティブに書いてもよいのではないか」という趣旨のご意見を頂きまして、計画の方はそのように修正させていただいております。</p> <p>また、本県の方で10月1日～31日にかけて、パブリックコメントを実施しております。さらに、10月12日・13日の2日間にわたりまして、米子市・境港市で地元説明会を開催し、こちらの方でもご意見を伺っております。</p> <p>鳥根県側の方でも同様の作業をしております、諸々そのような取組の中で出されたご意見を反映させまして、この度再度修正した計画を皆様にご議論いただくこととなります。</p> <p>皆様にご議論いただくのは今回が最後でございますので、計画の内容がよりよい実効性のあるものになりますよう、活発なご議論をお願いしたいと思いますので、本日はよろしく願いいたします。以上です。</p>
向井補佐	<p>ありがとうございました。それでは会に先立ちまして、出席委員数の確認をいたします。委員定数5名中4名ご出席いただいておりますので、定足数である半数以上を満たしていることを報告いたします。</p> <p>それでは、審議に入りたいと思います。以降の進行は齋藤部会長様、よろしく願いいたします。</p>
齋藤部会長	<p>それでは、まず審議に入る前に、この会議を公開にするか、非公開にするかを決めたいと思います。</p> <p>この審議会の中では、鳥取県情報公開条例に規定される個人情報又は法人等の競争上の地位、その他正当な利益を害するおそれがある情報を含まないということですので、公開ということではよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（異議等なし）</p>
齋藤部会長	<p>特にご異議がないようでしたら、公開ということで。</p> <p>続きまして、それでは審議に入りたいと思います。</p> <p>事務局から次第の「（1）第8期中海に係る湖沼水質保全計画（案）について」の「ア これまでの審議の概要」について、説明をお願いしたいと思います。</p>
安田係長	（事務局説明）
齋藤部会長	ありがとうございました。ただいまの内容について、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。伊達先生、お願いいたします。

発言者	内容
伊達委員	<p>強い意見ではないですが、8番の私の意見に対する対応方針のうち「米子湾中央部の水質は～」というところですが、流入河川として加茂川・新加茂川の影響が強くなるのは、確かに河川としてそこしかないの、影響がある・ないという評価をすれば、それはある。でも、そもそもが流れてくる表層水しか見ていないので、川の水をダイレクトに測っているのと大して変わりがない。川の水と表層水は同じものなので、影響がある・ないといえは、同じものなので当然あるに決まっている。</p> <p>ただ、それが水質そのものに影響があるかどうかは別問題で、絶対量の話なども入ってこなければいけないし、昔からその底層の影響がないような雰囲気です。いろいろなデータが出てきたりするのですが、本当かと常に思うところがある。我々普段実際に中海に潜ったりしていますし、調査結果的には底層は溶存酸素が全くないというような経験をすごくしているのですが。</p> <p>例えば、今回の資料の最後のページですね、これでいくと、米子湾中央部T-3のところなど、溶存酸素が一定程度あるような、5ppm以上あるような表記になっているんですね、割と常に。底層のデータを測られているわけですが、底層とは一体どこを取っているのかという話で、底層と上層のデータがほぼ重なっている状況になっていますよね。</p> <p>水深がすごく浅い位置なので、米子湾の奥部になってくると大体浅いところだと2mぐらいしかないの、例えばこれはどういうふうにご覧いただけますか。上層は1m、下は1mだとすると、それは同じところを取っていることになってしまう。</p> <p>下層は塩分躍層の絶対に下から取るなど決めていたら、もっと溶存酸素がすごく少ないところが取れているはずだと思うのですが、多分そういうレギュレーションになっていないのではないかと思いますよね。底層と言いつつ、下からある程度高いところを取ってはいませんか、とこのデータを見ていて思います。</p> <p>少し話が脱線してしまいましたが、私の意見に対する対応方針としてはこれで全然構わないのですが、米子湾奥部をターゲットにしているけれど、本当にデータの取り方として、影響評価として正しいのかなというのは、若干思うところです。以上です。</p>
齋藤部会長	ありがとうございます。この点、県の方から何かコメント等ございますでしょうか。
安田係長	<p>データの取り方としては、伊達先生がおっしゃるように、確かに一番下の方を取っているわけではなく、下層は下から50cm 1mのところを採水をして測定しております。</p> <p>今のお話で、河川水がどれだけ米子湾の水質に影響を及ぼしているかということもありますので、評価の方法を考えていかないといけないかと思いました。</p>
齋藤部会長	伊達先生、よろしいでしょうか。
伊達委員	<p>はい。今後の検討ということで構いませんので。</p> <p>ちなみにですが、我々もは底層は下から50cmで取っていますが、夏場にとると溶存酸素はゼロという数値が結構出てきます。参考までに。</p>
西山参事	<p>水環境保全課の西山です。ご意見ありがとうございます。</p> <p>多分水質の関係ですと、窒素・りんというのは表層の評価になるので、やはり中海の表層だけではなく下の部分も含めて、いろんな流域からの影響をもっと評価しなければだめではないか、というのがご意見かと思えます。</p> <p>米子湾の底質の調査などを継続して行っていますが、今後も調査研究の中で、いろいろなデータを整理しながら検討していきたいと考えています。ご意見ありがとうございます。</p>
齋藤部会長	<p>ありがとうございます。その他、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>それでは、引き続き事務局から次第の「『第8期中海に係る湖沼水質保全計画(素案)』に関するパブリックコメントの実施結果」について説明をお願いしたいと思います。</p>

発言者	内容
安田係長	(事務局説明)
齋藤部会長	<p>ありがとうございました。ただいまの内容についてご意見、ご質問等ありますでしょうか。(質問等なし)</p> <p>よろしいでしょうか。それでは引き続きまして、事務局から次第の「ウ 第8期中海に係る湖沼水質保全計画(案)の概要」について、説明をお願いしたいと思います。</p>
安田係長	(事務局説明)
齋藤部会長	<p>ありがとうございました。ただいまの内容についてご質問、ご意見等ございますでしょうか。全体の質疑としてはここが最後の辺りになりますので、もし今までの部分も含めて何か議論しておきたいとか、そういうことがあればご質問とかご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。特にございませんか。</p> <p>私の方から1点、専門外ですがお聞きしたいことがあります。どなたにお聞きすればよいかわからないのですが、パブリックコメントの方でも「今は生物が増えてない、戻ってきていない」とか、伊達先生の方からも「ブロックなどを作った方がよいのではないか」というお話があったかと思います。</p> <p>水質は目標値があって、そこを目指しているわけですが、生物に関しても目標とすべき生物多様性の基準だったり、こういう生物がいるとよいとか、過去こうだったというような、目指すべき生物多様性の目標のようなものがあるのか、ということをお聞きしてみたいのですが。どなたでも構わないのですが、いかがでしょうか。</p>
伊達委員	県からどうぞ先に。目標値などがあるか、考えられているのかをむしろ聞きたいので。
西山参事	<p>なかなか具体的な目標値がまだないところで、今回計画に盛り込んでいる新たな指標の検討において調査しながら、次期計画に設定したいと考えているところです。</p> <p>100%昔に戻すことはなかなか難しいと思うのですが、今の中海の中でこういった種を守っていくか、増やしていくかということも検討が必要ですし、後は水草についても浅場などで一部改善しているところもありますが、昔はもっと沿岸部に水草が広がっていたという資料もあるところで、具体的にどれぐらいにしていくかというのは、やはり今後8期計画や9期計画で調査研究し情報を整理していく中で検討していく必要があると考えています。</p> <p>後は魚の関係ですと、漁獲で説明するのがよいのかかわからないのですが、今一番多いのはスズキで、ほとんど9割ぐらいを占めていると聞いているのですが、中海にはスズキだけではなく、ハゼなどいろいろな種類があると思いますし、住民の方はいろいろな魚がいるような環境を求めているのではないかと思います。</p> <p>そうした情報を整理して、新たな指標を検討していきたいと思っています。以上です。</p>
齋藤部会長	ありがとうございました。伊達先生、もし何かコメントがあれば。
伊達委員	<p>意見というか、こうしてほしいというわけではないのですが、漠然とした私の思いというか。スズキしかいないのは事実で、私も中海で釣りをします。ただ、漁獲で判断すると多分見誤るといって、獲るのがスズキだから、漁獲としてはスズキしか現れてこないということになってしまう。</p> <p>実際はサイズ感としてもかなり大きなボラが大量にいます。ボラは水質に強いので、中海の奥部の米子の方にも相当入ってきています。実際、大根島の辺りでは寒ボラを獲って山陽側に出しています。また、漁獲に現れない魚も昔に比べればかなり入ってきています。釣りをしていると米子の奥部でもマゴチなどが獲れたりしますし、ハゼなども昔から当然いるのですが。</p> <p>指標を作るのは、なかなか大変だと思います。前回私が欠席した際ご説明に来ていただいたときにも少し話をしたのですが、水質的にきれいになりすぎると結局生き物がいなくなってしまうという問題もあるので、そのバランスの見極めも必要かと。</p>

発言者	内 容
	<p>単純にきれいにすればよいわけではないので、どこに指標を持ってくるかというのは、相当難しい話かと思えます。瀬戸内もきれいにしたけれど、今は排水の再放流という、汚くする方向に進んでいますよね、言い方が悪いですが。</p> <p>ですから、そこをどう考えるかはすごく難しいところで、計画段階からかなりいろいろな話をしなければいけないかと思えます。私も今これといった答えを出せるところではないですが、一緒に考えていければと思っています。</p>
齋藤部会長	<p>ありがとうございます。何がよいのかというのは難しいというのをすごく感じますし、どこを目標にしていくのかというのは、やはりある程度足並みが揃っていかないとなかなか難しいかということもあります。</p> <p>今期というわけではなく、今後の話になるかと思うのですが、もう少し具体的な目標などが出てくると、住民の方なども納得していただけるかと個人的に思っていたもので、この場を借りてお聞きしたというところです。ありがとうございました。</p> <p>その他、ご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>よろしいでしょうか。それでは事務局から、次第の「(2) 第8期中海に係る湖沼水質保全計画の策定のスケジュール」について説明をお願いしたいと思います。</p>
安田係長	(事務局説明)
齋藤部会長	<p>ありがとうございました。ただいまの内容についてご質問、ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>よろしいでしょうか。その他、何かございますでしょうか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>よろしいでしょうか。それではその他、事務局の方から何かありますでしょうか。</p>
向井課長補佐	<p>本日の議事録は、前回と同様に、改めて委員の先生方に見ていただいた後、ホームページ等で公表いたしますので、その旨ご了承をお願いいたします。以上です。</p>
齋藤部会長	<p>ありがとうございます。予定していた議事内容は以上ですが、全体を通してご質問、ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>その他ございませんか。ないようですので、進行を事務局の方にお返ししたいと思います。</p>
向井課長補佐	<p>齋藤部会長様、ご進行いただきありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の議事内容について、もしご質問、ご意見などございましたら、お手数ですが事務局までご連絡いただくようお願いいたします。</p> <p>また、次回の全体会は12月中旬頃を予定しておりますので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力方よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、本日の環境審議会大気・水質部会を終了させていただきます。お忙しいところ、ありがとうございました。</p>

令和6年11月19日に開催した鳥取県環境審議会大気・水質部会について、議事内容は本書のとおり相違ないことを証明します。

鳥取県環境審議会大気・水質部会長

齋藤 忠夏